

(仮称) 藻岩高等学校・啓北商業高等学校再編新設校

新 築 等 基 本 計 画

令和 5 年 1 月
札幌 市

1 はじめに

北海道教育委員会の推計によると、令和7年度～10年度の4年間に大幅な中学校卒業生数の減少が見込まれており、その後も少子化の傾向が引き続くことが見込まれる。

今後も市立高校が教育内容の多様性や活気ある学校行事等を維持するためには、機械的な学級減を続けることによって各校の規模を縮小するのではなく、再編により一定の学校規模を維持しながら、これまで築いてきた特色・魅力をより一層発展させることが必要などところである。

この市立高校の発展的再編に向けては、既存校の特色を活かしながら新たな魅力の創出を目指すことを念頭に、札幌市全体の公立高校の配置状況や、区ごとの中学校卒業生数の推移等、様々な要素を総合的に勘案しながら検討する必要がある。

これらのことを踏まえ、従来から南区との連携による地域課題解決をテーマとした教育活動を積極的に進めている、藻岩高等学校（以下「藻岩高校」という。）と啓北商業高等学校（以下「啓北商業高校」という。）の2校を再編対象校としたところである。

また、再編の実施年度については、中学校卒業生数の大幅な減少が見込まれる令和9年度とし、藻岩高校敷地内に新設高校を整備するため、令和7年度の工事着手に向け、基本設計を行うものである。

2 計画地の概要

(1) 所在地 札幌市南区川沿3条2丁目1番1号

(2) 敷地面積 51,611 m²

(3) 地域地区等

ア 石山通沿い（敷地東側）

用途地域	近隣商業地域（建ぺい率80%、容積率200%）
防火地域	準防火地域
日影規制	2.5時間・4時間
高度地区	33m高度地区
その他	札幌市景観計画区域、埋蔵文化財の包蔵地外、第三種店舗地区

イ 宅地側（敷地西側）

用途地域	第二種住居地域（建ぺい率60%、容積率200%）
防火地域	指定なし
日影規制	2.5時間・4時間
高度地区	33m高度地区
その他	札幌市景観計画区域、埋蔵文化財の包蔵地外

(4) 都市設備 上水道、公共下水道、都市ガス

3 計画規模の概要

校舎棟 : 延べ面積 9,857 m²

屋内運動場 : 延べ面積 1,940 m² (アリーナ面積は 40m×33m程度を想定)

雨天練習場 : 延べ面積 1,125 m²

部室棟 : 延べ面積 551 m²

- 雨天練習場は屋内運動場の階上又は階下に設けることを想定している。
- 既存施設規模及び解体が必須となる建物は、別添配置図のとおり。
- 昭和 49 年建設の屋内運動場は、第二屋内運動場として利用する。
- 既存の屋内運動場と新校舎は渡り廊下で接続することとする。なお、渡り廊下の面積は、上記面積に含めないこととする。
- 仮設校舎は整備しない計画とする。

4 再編新設校の基礎情報

(1) 開校年度 令和 9 年度

(2) 設置課程・学科及び開校時に想定する募集学級数と教職員数

単位制 普通科 5 学級 商業科 3 学級

募集定員 (年次あたり) 普通科 200 人 商業科 120 人

教職員数 85 名程度

※各学科の名称等は、今後編成する教育課程等に基づき決定する

(3) 再編新設校の学びのイメージ

別紙 1 のとおり

(4) (参考) 母体校の学びのイメージ

別紙 2～3 のとおり

(5) 商業科の授業に要する設備

アプリ開発や VR・AR などの最新映像技術を取り入れた教育に対応できる、高性能な PC、プロジェクター、カラープリンタ、ホワイトボード、書画カメラ、スキャナ

5 施設計画

以下の点を整備目標として重点的に考慮しながら計画すること。

- (1) 「主体的、対話的で深い学び」を支え、生徒の多様な学習ニーズに対応する施設
 - ア 多様な学習内容・学習形態に弾力的に対応するとともに、教科等横断的な学習に柔軟に対応するため、学習関係諸室相互の位置関係や生徒の動線等を考慮した計画とすること。
 - イ 学年・学級・学科の枠を越えた生徒間の日常的なコミュニケーションを活発にし、先生と身近で気軽な活動を生む開放的な雰囲気施設の計画する。
 - ウ 生徒の自主的な学習のために、図書室、自習室の機能を充実するとともに、日常的に主体的な学習が促されるよう講義室等との連携を計画すること。
 - エ 文部科学省が提唱する、「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方につい

て」を踏まえ、多様な学習形態、高度な教育機器の導入などに対応可能な施設を計画する。

オ 最大で1学年（320名）程度の生徒が一堂に会して、学習の成果を発表したり討論したりすることができる集会スペースを計画すること。

カ 普通科・商業科ともに単位制を導入することから、授業時間外の生徒の居場所も考慮しながら、生徒が休憩時間や食事等の際に、多様な生活場面を自ら選択できるよう、ラウンジや休憩スペース等を有機的に配置し、快適な空間を計画すること。

(2) 健康的かつ安全で豊かな施設環境

ア 生徒や教職員等の健康に配慮し、校内の快適性を確保するため、日照、採光、通風、換気、室温、音の影響等に十分配慮しつつ、良好な環境を確保できる計画とすること。

イ 生徒が生き生きと学習に臨めるように、学校生活にリズムを与え、気持ちの切り替えが図れるゆとりと変化のある空間構成を計画する。

ウ 障がいのある生徒、教職員等が安全かつ円滑に学校生活を送ることができ、障がいのある生徒と障がいのない生徒が共に学ぶことができるようにバリアフリーに配慮した施設を計画する。

エ 保健室、教育相談室、面談室等のカウンセリング関係諸室を有機的に配置することで、カウンセリング機能の充実に考慮した計画とすること。

オ 地震等の自然災害に対し、その激甚化も踏まえ、十分な安全性を確保できる計画とすること。

カ 生徒の安全確保を図るため、学校内にある全ての施設・設備について、生徒の多様な行動に対し十分な安全性を確保し、安心感のある計画とすること

(3) 地域の人材育成、生涯学習の場としての役割やまちづくりにも配慮した施設

ア 四季の変化に富んだ札幌の気候、風土または自然環境を楽しみ、愛着を持てる豊かな感性と人間性を育てる施設を計画する。

イ 学校に誇りと愛着を持ち、思い出に繋がる文化性、芸術性及び記念性を備えた個性的な施設を計画する。

ウ その地区、地域に対応した機能性と、特性、歴史及び敷地の特徴を反映することにより個性的で特色ある施設のデザインを計画する。

エ 生徒にとって最も身近である地域と学校とが連携することで、体験と実践を伴った探求的な学びを実践し、札幌市・南区の地域創生の核となる施設を計画する。

(4) 環境配慮の視点から

ア 自然エネルギーを活用するとともに、資源の有効活用を図り、環境と調和のとれた学校施設を計画し、環境教育にも活用できるような施設を計画する。

イ 環境への負荷の低減を図るなど、環境対策を講じるとともに、環境を考慮した学校施設を計画する。

6 整備内容

(1) 校舎棟

ア 講義室（70㎡程度の室を24教室、予備教室2教室）

イ 特別教室：20教室※各教室で1室整備するのではなく、1室を複合的な用途とすることも可
中講義室（化学・物理・生物地学・調理・被服・美術・音楽・書道・商業科用講義室・予備教室2教室）、図書室、メディアコーナー、コンピューター室、語学室、進路指導室、教育相談室、面談室2教室、特別活動室

※商業科用講義室とは、アプリ開発やVR・ARなどの最新映像技術を取り入れた教育に対応できる、高性能なPC、プロジェクター、カラープリンタ、ホワイトボード、書画カメラ、スキャナが整備された部屋とする。

ウ 管理諸室

職員室、事務室、校長室、印刷室、職員更衣室（男女別）、保健室、会議室、小会議室、用務員室、

エ その他

ラウンジ（学年毎のロッカースペース、休憩スペースの想定）、自習空間（室として設けても、廊下やホールにスペースとして設けても可）、集会スペース（講義室・中講義室の予備教室を可動間仕切りにより一体的な空間としたり、ホールなどの大きなスペースを利用すること等を想定）、茶室、売店、トレーニング室、ポンプ室、電気室、機械室、エレベーター、トイレ（男子用、女子用、多目的、職員用）

(2) 屋内運動場棟

屋内運動場、雨天練習場（冬季や雨天時における部活動や体育授業の補助施設として利用）、部室棟

(3) 屋外環境施設

野球場、サッカーグラウンド、テニスコート6面、陸上競技場、アーチェリー場6面
※理想は上記の環境をそれぞれ整備することだが、平面計画上整備が困難であれば、校舎屋上を使用したり、一部機能を制限することも可

(4) 外構等

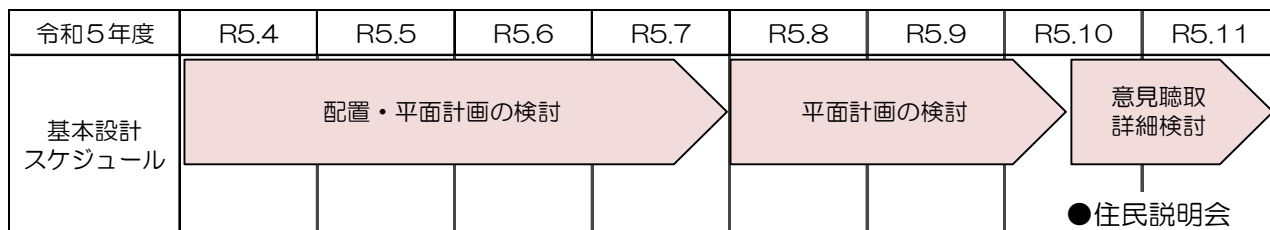
駐車場、駐輪場

7 概算事業費

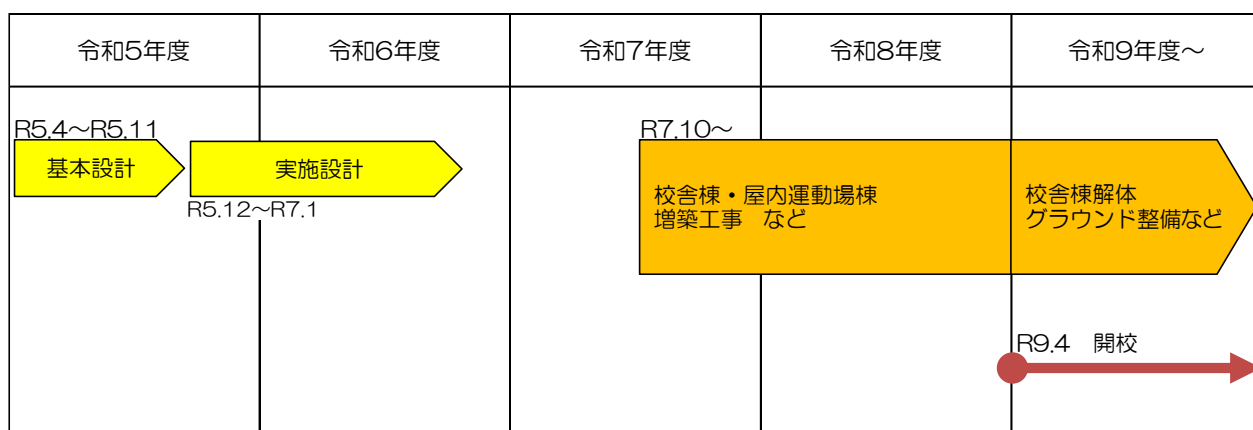
校舎等建設費	約5.1億円	
解体費	約9億円	※藻岩高校解体分のみ
グラウンド造成費	約1.4億円	

8 基本設計の進め方と想定スケジュール

学校、PTA 及び地域の代表等と協議しながら基本設計案を作成し、保護者や地域住民を対象とした住民説明会を開催することを想定している。



9 新築等想定スケジュール



※施設整備時期については設計の過程で変更の可能性あり

(参考)

「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/044/toushin/1414523_00004.htm

「これからの高校施設の在り方について」

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/044/toushin/1414523_00001.htm

「高等学校施設整備指針」

https://www.mext.go.jp/content/20220624-mxt_kouhou01-000023406_04.pdf

「CO-SHA Platform (コーシャプラットフォーム)」

<https://www.mext.go.jp/co-sha/>